

文化庁の文化プログラムに関する 主な取組について（平成29年度）

平成29年7月5日

文 化 庁

文化プログラムの全国展開に向けた取組

【周知・発信】

1. 文化情報プラットフォームの構築・発信P2
(beyond2020の認定も合わせて開始)
2. ノウハウ集「あなたにもできる文化プログラム」の作成P3
3. 文化プログラムシンポジウム等を通じた周知P5

【具体的なプロジェクトの展開】

4. 全国各地の有形・無形の文化資源を掘り起こし、その積極的な活用や
新たな文化振興モデルの構築を図る取組P6
5. 総合的にアーツプロジェクトを企画・実施できる人材育成とそのネットワーク
形成を図るための取組P7

- 参考資料P9

1 文化情報プラットフォームの構築による情報発信

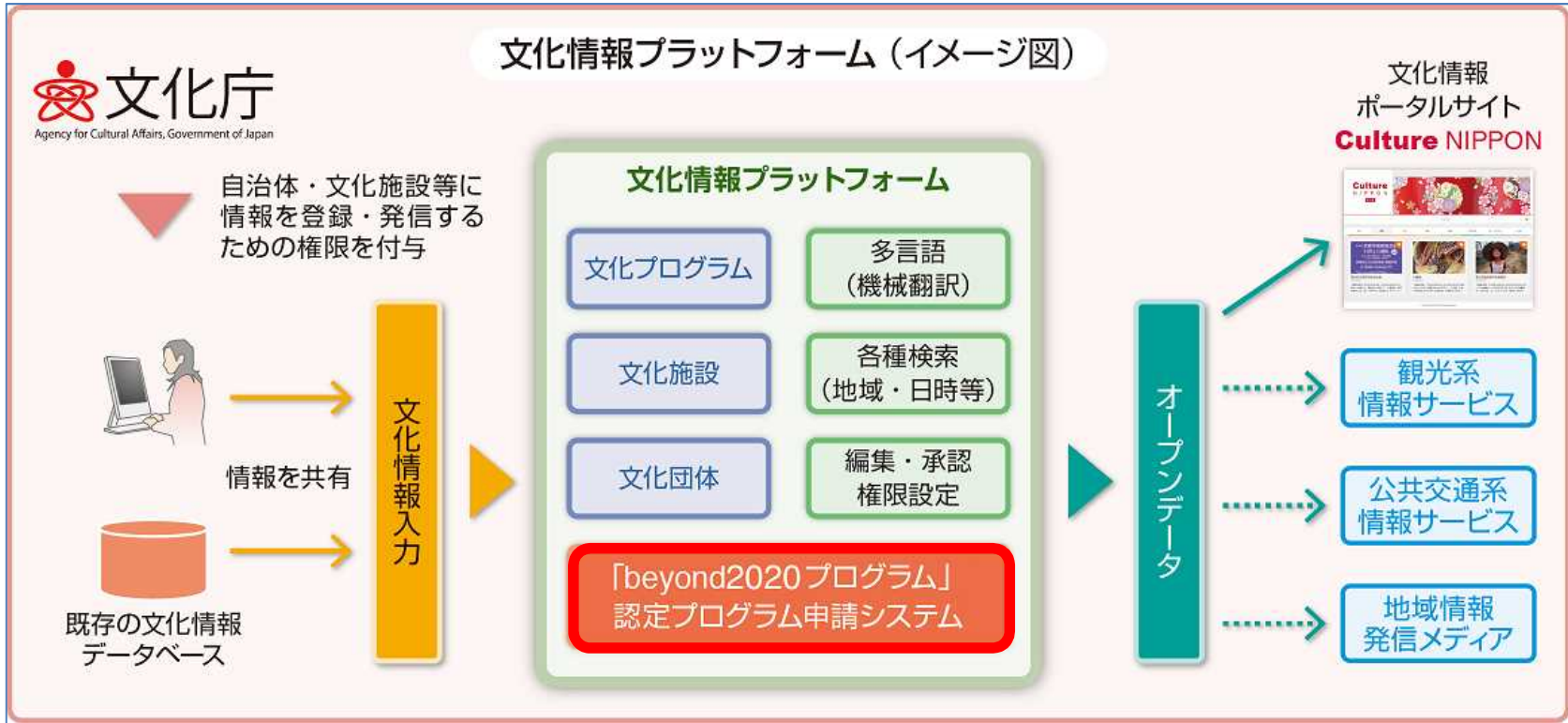
概要

全国各地で実施される文化活動や文化施設の情報を集約するプラットフォーム(データベース)を構築し、当該情報を国内外に発信することを目指す。これにより、地域の文化資源を発掘し、文化芸術の振興や観光・経済の振興に貢献し、2020年以降のレガシーとする。

運用イメージ

平成29年5月26日(金)から運用開始 <http://culture-nippon.go.jp>

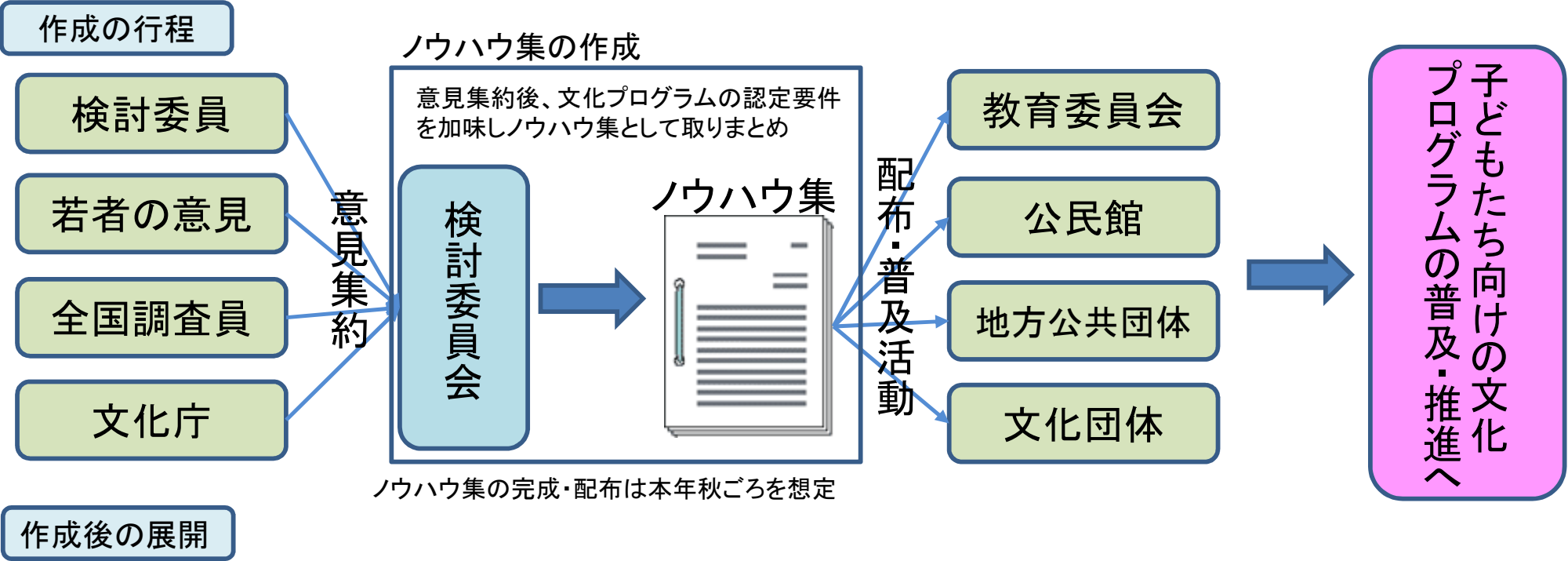
- ・文化芸術活動の見える化・発信を促進する観点から、文化庁が「文化情報プラットフォーム」を構築
- ・自治体、文化施設、イベント主催者、ボランティアなど多くの協力を得ながら、オープン方式での運営を目指す共通の枠組み
- ・登録された情報はオープンデータとして提供し、民間事業者による多様なサービスの創出を促進
- ・機械翻訳エンジンを活用し、英語、中国語、韓国語、フランス語など多言語での情報発信を目指す



2 ノウハウ集「あなたにもできる文化プログラム」の作成

■オリンピック・パラリンピック大会は、オリンピック憲章にも位置付けられているように、「スポーツの祭典」であると同時に、「文化の祭典」でもある。オリンピック・ムーブメントをオール・ジャパンで盛り上げていくため、2020年に向けて様々な文化事業(文化プログラム)を実施していくことが重要であるが、特に将来を担う子どもたち(小学生・中学生)が参加できる仕組みを構築することが求められている。

■今後、各学校は教育課程の内外を通じて、各種文化プログラムを盛り込んでいくことが望まれるが、その企画立案の一助となるよう、ノウハウ集「あなたにもできる文化プログラム」を策定・提供し、2020年以降のレガシーとすべく、文化プログラム推進を一層進めたい。



■ノウハウ集を全国の教育委員会に配布し、早ければ2018年度、遅くとも2019～2020年度にすべての小中学校において文化プログラムの実施を目指す。これらは同時に「beyond2020」の認証プログラムとして、文化庁が作成する「文化情報プラットフォーム」へも掲載し、全国の教育関係者のみならず、世界に向けても取り組みを発信していく。

教育・文化週間に実施される全国各地の行事の参画

■教育・文化週間とは？

11月1日から7日までの1週間に、教育・文化に関する行事を集中的に実施し、我が国の教育・文化に関して、広く国民の皆様に関心と理解を深めていただくとともに、その充実・振興を図ることを目的として、昭和34年の閣議了解に基づき、同年より毎年開催されている。

■実施内容

文部科学省や教育委員会が中心となり、教育・文化に関する以下のような行事を集中的に実施。

- ・文化功労者の顕彰や、教育・文化に関する功績への顕彰
- ・文化庁芸術祭や国民文化祭をはじめとした芸術文化に関する行事
- ・美術館、博物館、研究所、学校等における特別展、施設の無料公開、各種公開講座、保護者の授業参観等、各地方公共団体や各機関の実情に即した各種行事



「東京2020アクション&レガシープラン 2016」

アクションの例（日本文化の再認識・継承）

- ・学校、児童館、公民館等、地域の様々な場所において、文化芸術を体験できる機会を創出

アクションの例（新たな文化芸術の創造）

- ・歌舞伎・能・狂言とメディアアート・マンガ・アニメなど、伝統芸能と最先端技術やポップカルチャーを融合させた新たな芸術表現の創造

アクションの例(多彩な文化芸術の発信)

- ・オリンピック・パラリンピックやその競技をテーマにした漫画コンテスト

アクションの例（あらゆる人の参加・交流）

- ・障がい者と健常者がともに制作活動を行う「障害者アートプログラム」を実施

3 文化プログラムシンポジウム等を通じた周知

文化プログラムの機運醸成、広報普及、ノウハウ創出に関するシンポジウム等を開催

趣旨

文化プログラム実施に向けた機運を醸成するため、認証制度や認証された優良事例の広報普及を行うとともに、地域社会がその文化資源を発掘し、国内外に効果的に発信するためのノウハウを創出するため、シンポジウム等を開催するものである。

内容

1. 文化プログラムの広報・普及

- (1) 広報物の制作等(チラシ、ポスター、動画、パネル、SNSなど)
- (2) 優良事例等の発信(文化プログラムに認定された事業をパブリックスペース等でパネル・映像を展示)
- (3) 番組制作・グッズ等の検討

2. シンポジウム等の開催

- (1) 文化プログラム実施に向けた機運の醸成と、地域の文化資源の発掘・発信のためのシンポジウムを全国3か所程度で実施
- (2) 報告書作成、ネット配信、取材誘致等



●昨年実施●

文化プログラムシンポジウム

写真左:新潟、写真中:栃木、写真右:大阪【(C)関西・大阪21世紀協会】

日本遺産の物語と実演芸術の双方の魅力を高めるプロジェクト

■ 題目

ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art

■ 受託団体

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会(芸団協)

■ 活動概要

日本遺産に認定された地域にある神社仏閣や伝統建築等のユニークな空間を活用した伝統芸能を実演。地域と連携し、その土地に根付く独自の文化と実演伝統芸術の融合による新しい魅力を創造し、発信するイベントを創る。

《全国の“たからもの”発見キャンペーン》として国内の複数個所で実施し、継続的に全国発信することにより、日本遺産を活用した観光振興・地方創生の機運を高める。

■ 実施内容

- ①5府県(京都・福井・富山・広島・島根)6カ所で、全10公演(各所2公演)を予定。
- ②著名人を『旅人』として起用し、公演の進行役やイベントの魅力をWEBで発信する。
- ③共同通信社『中高生プレスセンター』や地域ブロガーと協力して、魅力を発信する。



● 実演イメージ ●

太鼓谷稲荷神社(島根県)と箏曲・尺八演奏

①芸術系大学連携による「文化芸術アソシエイツ」戦略的育成プロジェクト

- 題目
アート人材育成プロジェクト ～若い力を中心とした文化芸術による地方創生を目指して～

- 受託団体
国立大学法人 東京藝術大学

- 活動概要
平成28年7月設立の全国芸術系大学コンソーシアム(現在56校参画)が連携・協力し、文化芸術アソシエイツの育成プログラムを実施する。国や地域等の核となる若手アートマネジメント人材を輩出し、多様な文化活動を推進することで地方創生や観光振興、地域社会の活性化の一役を担うことを目指す。

- 実施内容
 - ①文化芸術アソシエイツ人材育成プログラム加盟大学から研修生を公募し、プロジェクト・コーディネーター(指導教員)のもとで学ぶインターン制度を導入。
個々の能力に応じた基礎講座と実践講座を実施する。
 - ②文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム
 - a.プロジェクト・コーディネーターによるアートプロジェクト(①の実践講座として)
 - b.H28年度修了者によるアートプロジェクト



●昨年実施●
文化芸術アソシエイツ実施研修(気仙沼)

②全国に文化芸術プログラムを作り出すプロジェクトリーダー育成事業

■ 題目

文化芸術プロデューサーの研修プロジェクト「プロジェクトスクール@3331」

■ 受託団体

一般社団法人 非営利芸術活動団体コマンドN

■ 活動概要

地域の多様な文化的資源を活かした魅力ある文化プロジェクトの企画・実施に欠かせない「プロジェクトリーダー」育成のため、「プロジェクトスクール」を開校する。

スクール生は、第1線で活躍する講師陣から実践力のあるレクチャーを受けながら、スクール生自らが企画したプロジェクトを通して必要なスキルを習得する。

■ 実施内容

- ①「プロジェクトスクール」を開校(レクチャー及びプロジェクト実施)
- ②調査合宿(各地で展開されているプロジェクトの調査研究)
- ③ネットワークの構築(全国のプロジェクトリーダー間のネットワーク化・連携強化)



●スクール生による写真展と講師陣による受講風景●
アーツ千代田3331(千代田区)

参 考 資 料

1. オリンピックにおける「文化プログラム」の位置づけ……………P10
2. 文化プログラムに関する記述について……………P11
3. 東京2020大会に向けた文化プログラムの枠組……………P12
4. 文化庁から申請した文化プログラムの認証状況について……………P13
5. 文化庁が認証した「beyond2020プログラム」……………P14
6. 文化芸術立国実現に向けた文化プログラムの推進……………P21
7. 2012年ロンドン大会における文化プログラム ……P22

オリンピックにおける「文化プログラム」の位置づけ

◆「オリンピック憲章」

- ・オリンピズムは、人生哲学であり、肉体と意思と知性の資質を高めて融合させた、均衡のとれた総体としての人間を目指すものである。スポーツを文化と教育と融合させることで、オリンピズムが求めるものは、努力のうちに見出される喜び、よい手本となる教育的価値、社会的責任、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重に基づいた生き方の創造である。(根本原則)
- ・オリンピック競技大会組織委員会は、短くともオリンピック村の開村期間、複数の文化イベントのプログラムを計画しなければならない。このプログラムは、IOC理事会に提出して事前の承認を得るものとする。(第5章・第39条)

【近代オリンピックにおける文化の取り上げ方】

※ 近年の『文化プログラム』は、規模・質ともに、五輪開催期間を超えて長期化・大規模化
→ オリンピックは、「**スポーツと文化の祭典**」となってきた。

- ① 文化的要素がない(第1回アテネ～第4回ロンドン)[1896～1908年]
- ② 芸術競技の時代(第5回ストックホルム～第14回ロンドン)[1912～1948年]
- ③ 芸術展示の時代(第15回ヘルシンキ～第24回ソウル)[1952～1988年]
- ④ 文化プログラムの時代(第25回バルセロナ～第30回ロンドン)[1992～2012年]

文化プログラムに関する記述について

文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）

2020年東京大会は、我が国の文化財や伝統等の価値を世界に発信するとともに、文化芸術が生み出す社会への波及効果を生かして、諸課題を乗り越え、成熟社会に適合した新たな社会モデルの構築につなげていくまたとない機会。

文化プログラム等の機会を活用して、全国の自治体や芸術家等との連携の下、地域の文化を体験してもらうための取組を全国各地で実施する。

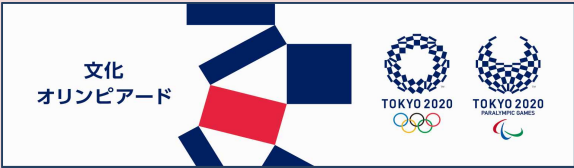


リオ大会(2016年)の終了後に、オリンピック・ムーブメントを国際的に高めるための取組を行い、文化プログラム実施に向けた機運の醸成を図る。

【2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針】

大会はスポーツの祭典のみならず文化の祭典でもある。日本には、伝統的な芸術から現代舞台芸術、最先端技術を用いた各種アート、デザイン、クールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、メディア芸術、ファッション、地域性豊かな和食・日本酒その他の食文化、祭り、伝統的工芸品、和装、花、さらには、木材・石材・畳等を活用した日本らしい建築など、多様な日本文化がある。

文化プログラムの推進も含め、こうした多様な文化を通じて日本全国で大会の開催に向けた機運を醸成し、東京におけるショーウィンドウ機能を活用しつつ、日本文化の魅力を世界に発信するとともに、地方創生、地域活性化につなげる。

東京2020大会に向けた文化プログラムの枠組

	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会		文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議
	東京2020文化オリンピックアード		beyond2020 プログラム
プログラム	東京2020公認 文化オリンピックアード	東京2020応援 文化オリンピックアード	
概要	<p>「<u>オリンピック憲章</u>」に基づいて行われる公式文化プログラム</p> <p>東京大会の主なステークホルダー等が大会ビジョンの実現に相応しい文化芸術性の高い事業を実施</p>	<p>「<u>オリンピック憲章</u>」に基づいて行われる公式文化プログラム</p> <p>非営利団体等がオリンピック・パラリンピックムーブメントを裾野まで広げる事業を実施。</p>	<p>2020年以降を見据え、レガシー創出に資する文化プログラム</p> <p>営利・非営利を問わず多様な団体が実施。</p> <p>※オリンピック・パラリンピックの文言使用は不可</p>
実施主体	組織委員会、国、開催都市、会場所在地地方公共団体、 <u>公式スポンサー</u> 、JOC、JPC	会場所在地以外の地方公共団体、 <u>独立行政法人を含む非営利団体</u>	文化オリンピックアードの実施主体に加えて、 <u>公式スポンサー以外の企業も対象</u>
ロゴマーク			

各プログラムの認証要件

東京2020文化オリンピック

大会ビジョン、文化オリンピックのコンセプトを実現する事業内容かどうか総合的に審査

【大会ビジョン】

全員が自己ベスト

多様性と調和

未来への継承

【文化オリンピックのコンセプト】

日本文化の
再認識と継承・発展

次世代育成と
新たな文化芸術の
創造

日本文化の
世界への発信と
国際交流

全国展開による
あらゆる人の
参加・交流と
地域の活性化

beyond2020プログラム

日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、共生社会、国際化につながるレガシーを創出する取組かどうかを審査

【必須要件】

日本文化の魅力を
発信する取組

+

障害者にとってのバリアを
取り除く取組

又は

外国人にとっての言語の
壁を取り除く取組

文化庁が主催・共催した文化プログラム：公認文化オリンピック25件、beyond2020プログラム8件

文化庁から申請した文化プログラムの認証状況について 東京2020公認文化オリンピックにおける取組（文化庁主催）

								※地方自治体等との共催を含む。	
No.	年	承認日	事業名	概要	開催期間		開催地	実施場所	
1	2016年	9月9日	文化庁芸術祭主催公演 オープニング「日本の四季」	文化庁芸術祭のオープニングイベントとして、邦楽・沖縄 芸能・雅楽・日本舞踊の4ジャンルからなる華やかな伝統芸 能を上演する。	2016年	10月1日	東京都 千代田区	国立劇場	
2	2016年	9月29日	文化庁芸術祭主催公演 10月歌舞伎公演 「仮名手本忠臣蔵」【第一部】	赤穂浪士の討ち入り事件を題材にした「仮名手本忠臣蔵」 を上演する。	2016年	10月3日 ～ 10月27日	東京都 千代田区	国立劇場大劇場	
3	2016年	9月29日	文化庁芸術祭主催公演 アジアオーケストラウィーク（東京公 演）	アジア地域のオーケストラとの交流を図り、アジア人による 西洋音楽のスタンダードモデルの確立を目的に東京公演 を実施する。	2016年	10月5日 ～ 10月7日	東京都 新宿区	東京オペラシティ コンサートホール	
4	2016年	9月29日	文化庁芸術祭主催公演 現代舞台芸術公演オペラ公演（ワル キューレ）	フィンランド国立歌劇場（ヘルシンキ）の協力の下、世界 トップクラスの指揮者、歌手、オーケストラが最高水準の 公演を創造する。	2016年	10月2日 ～ 10月18日	東京都 渋谷区	新国立劇場	
5	2016年	9月27日	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化会議分科会 「文化芸術資源で未来をつくる～輝き 続ける日本へ～」	全国で文化プログラム実施を促進するためのキックオフイ ベントとして、各地の意欲的な取組の発表を行い、レガ シーの創出等について議論する。	2016年	10月19日	京都府 京都市左京区	ロームシアター京都 サウスホール	
6	2016年	10月25日	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化芸術活動を通じた多様性を尊重す る社会の実現に向けて	文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向 け、障害のある方々による芸術活動や障害のある方々に係 る活動をテーマとしたシンポジウムを実施する。	2016年	10月21日	東京都 港区	国立新美術館 3階講堂	
7	2016年	10月13日	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 「ここからアート・デザイン・障害を考える 3日間-」	障害のあるアーティストが生み出す作品からなる展覧会等 を通じて、障害の有無に関わらず調和して生きる取組を紹 介する。	2016年	10月21日 ～ 10月23日	東京都 港区	国立新美術館 企画展示室2 E	
8	2016年	9月30日	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム バリアフリー映画上映等実施・運営業 務	聴覚障害者用のバリアフリー日本語字幕、視覚障害者用の 音声ガイドを付して映画を上映する。併せて、バリアフ リー映画に対する理解を深めるためのシンポジウムを実施 する。	2016年	10月22日	東京都 港区	国立新美術館 3階講堂	
9	2016年	9月27日	国民文化祭・あいち2016	国民文化祭の愛知大会では「「愛故知新」～伝統を「愛」 （いつく）しみ、新しきを「知」り、文化は動く～」の テーマの下、関連イベントを実施する。	2016年	10月29日 ～ 12月3日	愛知県 名古屋市	愛知県芸術劇場	
10	2016年	10月17日	国民文化祭・あいち2016 「食文化シンポジウム」	生活文化に深く関わる食文化を見つめなおし、海外に誇る べき日本の食文化への理解促進を図るためのシンポジウム を実施する。	2016年	11月16日	東京都 中央区	浜離宮朝日ホール	

東京2020公認文化オリンピックにおける取組(文化庁主催)

※地方自治体等との共催を含む。

No.	年	承認日	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
11	2016年	9月28日	文化庁for'17芸術祭20周年企画展 —変える力	「変化」をキーワードに、これまで20年間の歩みを振り返りつつ、作品が持つ「変える力」に焦点を当てることで、メディア芸術の未来について考察する。	2016年 10月15日 ～ 11月6日	東京都 千代田区	アーツ千代田3331
12	2016年	9月28日	文化庁for'17芸術祭新潟展 「記憶と記録のモノ渦り」	優れたメディア芸術と優秀なアーティストに接する機会を提供することによって、メディア芸術の理解を深め、発展に資することを目的とする。	2016年 10月10日 ～ 10月30日	新潟県 新潟市	COXMIXビル
13	2016年	10月4日	「実演芸術連携交流事業」シンポジウム 『実演芸術で世界とつながる～アジアのオーケストラの事例から』	アジアオーケストラウィークとの協力により国内外の芸術団体・劇場・音楽堂等の専門家同士の情報共有とネットワーク形成を目指すシンポジウムを実施する。	2016年 10月6日	東京都 新宿区	東京オペラシティ リサイタルホール
14	2016年	10月17日	文化芸術創造都市推進事業 「自治体サミット」	文化芸術を核に地域づくりに取り組む地方自治体の先進的な取組を紹介するシンポジウムを実施する。	2016年 10月19日	京都府 京都市左京区	京都市勤業館みやこめっせ大会議室
15	2016年	10月17日	危機的な状況にある言語・方言サミット (奄美大会)・与論	危機的な状況にある言語・方言の状況改善につなげることを目的とした大会を実施する。	2016年 11月13日	鹿児島県 与論町	与論町総合体育館 (砂美知来館)
16	2016年	11月7日	神社・仏閣・能楽堂などを活用した実演芸術拠点の形成プロジェクト(和の空間を活用した伝統文化発信)	神社・仏閣・能楽堂等を活用した地域の芸能を活かした実演芸術の鑑賞機会を提供する。	2016年 12月4日 ～ 12月18日	沖縄県 那覇市 新潟県 新潟市 東京都 墨田区	波上宮 新潟・りゅーとぴあ 両国・回向院
17	2016年	11月30日	とちぎの元気を世界に！～とちぎ版文化プログラムを考える～	とちぎの文化資源の発掘・育成し、とちぎ版文化プログラムへの参加協力を促し、県内各地での文化による地域づくりの方向性を議論する。	2016年 12月21日	栃木県 宇都宮市	栃木県総合文化センター サブホール
18	2016年	12月1日	文化プログラムシンポジウムin新潟	地域固有の文化プログラムづくりを推進し、地域ごとに文化プロデューサーを担う人材の発掘を目的としたシンポジウムを実施する。	2016年 12月18日	新潟県 新潟市	りゅーとぴあ新潟市民 芸術文化会館 能楽堂
19	2017年	12月7日	未来を担う美術家たち 19thDOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果	文化庁新進芸術家海外研修制度により海外の機関・作家のもとで研修した新進芸術家たちの展覧会を実施する。	2016年 ～ 2017年 12月10日 ～ 2月5日	東京都 港区	国立新美術館
20	2017年	2月6日	文化プログラムシンポジウムin大阪	官民連携で地域文化発信を目的としたシンポジウムを実施する。	2017年 3月2日	大阪府 大阪市	国立文楽劇場

東京2020公認文化オリンピックにおける取組(文化庁主催)

※地方自治体等との共催を含む。

No.	年	承認日	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
21	2017年	2月10日	東アジア文化都市2017京都オープニング関連事業	日中韓3か国の東アジア文化都市が文化交流を行うとともにさまざまな文化芸術イベント等を実施する。	2017年 2月18日 ～ 3月19日	京都府 京都市	ロームシアター京都 メインホール
22	2017年	3月23日	東アジア文化都市2017京都(平成29年度事業分)	日中韓3か国の東アジア文化都市が文化交流(アーティストの相互派遣)を行うとともに現代美術、舞台芸術、マンガアニメなどの文化芸術イベントを実施する。	2017年 4月1日 ～ 11月19日	京都府 京都市	ロームシアター京都 メインホール
23	2017年	4月24日	障害者の文化芸術国際交流事業「2017ジャパン×ナントプロジェクト」	日本の障害者による優れた芸術文化を世界に発信し普及促進を展開する。	2017年 ～ 2018年 10月19日 ～ 1月14日	フランス ナント市	フランス国立現代芸術 センター
24	2017年	6月22日	「ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art～」	日本遺産に認定されている伝統建築等の空間で、日本遺産と実演芸術の双方の魅力を発信するイベントを実施する。	2017年 7月1日 ～ 11月30日	京都府精華町 京都府宇治市 福井県小浜市 富山県高岡市 広島県尾道市 島根県津和野町	けいはんなオープンイベントセンター 萬福寺 旭座 瑞龍寺 浄土寺 太鼓谷稲荷神社
25	2017年	6月30日	実演芸術連携フォーラム「文化プログラムを通じた文化基盤づくり～全国でも鑑賞・参加機会の拡充に向けて」	全国での実演芸術の鑑賞・参加機会の拡充に向けて、全国を巻き込む文化プログラムの展望を議論する。	2017年 6月19日	東京都 渋谷区	代々木オリンピックセンター

※東京2020応援文化オリンピックについては、対象外のため該当なし

beyond 2020プログラムにおける取組(文化庁主催)

※地方自治体等との共催を含む。								
No.	年	承認日	事業名	概要	開催期間		開催地	実施場所
1	2017年	2月10日	文化プログラムシンポジウムin大阪	官民連携による地域文化の発信や文化資源の産業化に関するシンポジウムを実施する。	2017年	3月2日	大阪府 大阪市	国立文楽劇場
2	2017年	2月10日	フライデー・ナイト・ミュージアム@上野	美術館・博物館が連携し、夜間開館を活用したナイトプロジェクトを実施することで新たな文化発信拠点・観光拠点としての活用を目指す。	2017年	2月24日 ～ 3月31日	東京都 台東区	東京国立博物館 国立西洋美術館 国立科学博物館 上野公園一帯
3	2017年	2月15日	芸術系大学連携による人材育成型アートプロジェクト	地域社会と協働しながら文化プログラムを企画実施する人材を育成するためのプロジェクトを全国芸術系大学コンソーシアムと連携して実施する。	2017年	1月23日 ～ 6月30日	東京都 千代田区 宮城県 気仙沼市 熊本県 熊本市	文化庁ほか
4	2017年	6月2日	プロジェクトスクール@3331	企画及び実施に欠かせない多様なスキルを備えた文化芸術プロジェクトリーダーを育成するため、プロジェクトスクールを開講する。	2017年 ～ 2018年	5月29日 ～ 3月31日	東京都 中央区	アーツ千代田3331
5	2017年	6月13日	平成29年度国立近現代建築資料館収蔵品展	日本を代表する建築家による建築資料を展示する。	2017年	6月10日 ～ 9月10日	東京都 文京区	国立近現代建築資料館
6	2017年	6月13日	ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art	日本遺産に認定されている伝統建築等の空間で、日本遺産と実演芸術の双方の魅力を発信するイベントを実施する。	2017年	7月1日 ～ 11月30日	京都府 宇治市	萬福寺
7	2017年	6月22日	危機的な状況にある言語・方言サミット(北海道大会)	アイヌ語の危機的な現況について発信し、実際に語りなどを耳にもらい、日本文化の多様性とその価値を理解してもらう取組。	2017年	12月3日	北海道 札幌市	北海道大学学術交流会館 小講堂
8	2017年	6月23日	霞が関音楽祭2017	霞が関から文化を発信する「霞が関から文化力プロジェクト」を実施。文化庁や関係団体・企業が中心となって、コンサートなどのイベントを開催。	2017年	7月31日 ～ 8月4日	東京都 千代田区	霞が関コモンゲート 霞が関ビル

文化庁が認証した「beyond2020プログラム」

No.	年	承認日	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
1	2017年	6月2日	「SOMPOアート・ファンド」キックオフミーティングおよび活動報告会イベント	文化芸術活動に携わる方々に交流の機会を提供し、文化団体の財政的支援のみならず、文化活動の一層の活性化になることを目的としたイベントを実施する。	2017年 ～ 2018年 6月7日 ～ 3月31日	東京都 中央区	損害保険ジャパン日本興亜日本橋ビル
2	2017年	6月2日	富士山国際美術展 Japan×Korea 『アートと解脱』展	日韓美術作家たちの作品で空間を作り上げ、日本だけでなく世界の人々に歴史文化の再認識や再発見をてもらい、世界中に情報を発信する。	2017年 8月2日 ～ 9月10日	静岡県 富士宮市	日蓮宗弘法山三澤寺
3	2017年	6月2日	プロジェクトスクール@3331	企画及び実施に欠かせない多様なスキルを備えた文化芸術プロジェクトリーダーを育成するため、プロジェクトスクールを開講する。	2017年 ～ 2018年 5月29日 ～ 3月31日	東京都 中央区	アーツ千代田3331
4	2017年	6月13日	平成29年度国立近現代建築資料館 収蔵品展	日本を代表する建築家による建築資料を展示する。	2017年 6月10日 ～ 9月10日	東京都 文京区	国立近現代建築資料館
5	2017年	6月13日	ニッポンたからものプロジェクト～日本遺産×Live Art	日本遺産に認定されている伝統建築等の空間で、日本遺産と実演芸術の双方の魅力を発信するイベントを実施する。	2017年 7月1日 ～ 11月30日	京都府 宇治市	萬福寺
6	2017年	6月19日	日露交歓コンサート2017 佐賀会場	一流の国際的音楽家を招聘し、文化の裾野を広げるとともに、海外と県内の文化への関心を高めるコンサートを開催する。	2017年 10月3日 ～ 10月4日	佐賀県 鹿島市 鳥栖市	鹿島市生涯学習センター・エイブル (10/3) 鳥栖市民文化会館 (10/4)
7	2017年	6月19日	京都文化カプロジェクト2016-2020 公式ポスターデザインコンテスト	京都文化カプロジェクトを国内外に周知し、大学のまち・京都の若い力に参画してもらうため、大学生を対象にした公式ポスターのデザインを募集する。	2017年 ～ 2018年 6月15日 ～ 2月28日	京都府	京都府全域
8	2017年	6月19日	Linon～進化形ピアノトリオ～	日本屈指の若手クラシック演奏者を取り上げ、広くその存在と魅力を発信していくコンサートを入場無料で開催する。	2017年 9月20日	岐阜県 岐阜市	サラマンカホール
9	2017年	6月19日	サラマンカホール・レジデント・カルテット結成一周年コンサート「十六本の糸」	若手音楽家育成の成果、若手のフレッシュな感性、音楽を発信していき、これからの音楽界を担う若手音楽家を多くの方々に広げ日本の音楽界を盛り立てていく取り組み。	2017年 10月18日	岐阜県 岐阜市	サラマンカホール
10	2017年	6月19日	第8回とっとり伝統芸能まつり	地域で守られてきた伝統ある行事・芸能を次世代に引き継ぐため、また、地域の伝統芸能の伝承並びに活用の気運を広げることを目的とする。	2017年 6月18日	鳥取県 鳥取市	とりぎん文化会館 (鳥取県民文化会館)

文化庁が認証した「beyond2020プログラム」

No.	年	承認日	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
11	2017年	6月21日	第12回 ザ ハートフル コンサート 大西学園 中高等学校吹奏楽部演奏会	日本の古くから親しまれている童謡を演奏する。	2018年 1月7日	神奈川県 川崎市	川崎市総合福祉センター エボックなかはら
12	2017年	6月19日	伊藤園お〜いお茶新俳句大賞	日本の茶文化・俳句文化の保護・継承のため、パッケージに掲載することで発表機会を広く提供することを目的に「お〜いお茶新俳句大賞」を創設。	2017年 6月1日 ～ 10月31日	WEB	全国
13	2016年	6月19日	伊藤園お〜いお茶新俳句大賞	日本の茶文化・俳句文化の保護・継承のため、パッケージに掲載することで発表機会を広く提供することを目的に「お〜いお茶新俳句大賞」を創設。	2017年 ～ 2018年 11月1月 ～ 10月31日	WEB	全国
14	2017年	6月22日	危機的な状況にある言語・方言サミット(北海道大会)	アイヌ語の危機的な現況について発信し、実際に語りなどを耳にしてもらい、日本文化の多様性とその価値を理解してもらおう取組。	2017年 12月3日	北海道 札幌市	北海道大学学術交流会館 小講堂
15	2017年	6月22日	新・秋田の行事in大仙2017	秋田県内の伝統芸能やお祭りが大仙市に一堂に会し、本県の伝統文化を一度に満喫できる祭典。	2017年 10月14日 ～ 10月15日	秋田県 秋田市	大仙市大曲市民会館 大曲駅前周辺会場
16	2017年	6月23日	霞が関音楽祭2017	霞が関から文化を発信する「霞が関から文化プロジェクト」を実施。文化庁や関係団体・企業が中心となって、コンサートなどのイベントを開催。	2017年 7月31日 ～ 8月4日	東京都 千代田区	霞が関コモンゲート 霞が関ビル
17	2017年	6月23日	ヒューマンセレブレーション 三陸国際芸術祭2017	三陸の芸能や、被災地で生活する人々が主役となり、東北及び日本の郷土芸能・伝統芸能とアジア・世界との芸能の交流、交感を促進する芸術祭。	2017年 ～ 2018年 8月5日 ～ 2月28日	岩手県 大船渡市 青森県 八戸市	大船渡町字野々田10 種差海岸
18	2017年	6月23日	北のまんが大賞	まんが文化の振興や観光客の誘致、コンテンツ関連産業の育成と若者の雇用の場を創出することなどを目的とし、北海道の魅力発信と漫画家の育成支援に取り組む。	2017年 ～ 2018年 6月7日 ～ 3月31日	北海道 札幌市	全国
19	2018年	6月30日	お旅まつり 曳山八基曳揃え	江戸時代から受け継がれてきている「曳山」、そして曳山を舞台に行われる「子供歌舞伎」を堪能できる催し。	2018年 5月11日	石川県 小松市	小松駅周辺
20	2018年	6月30日	第20回全国子供歌舞伎フェスティバルin小松	全国各地の子供歌舞伎と地元小松の子供たちによる歌舞伎「勸進帳」の競演。	2018年 5月4日 ～ 5月5日	石川県 小松市	石川県こまつ芸術劇場うらら

文化庁が認証した「beyond2020プログラム」

No.	年	承認日	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
21	2017年	6月30日	小松伝統芸能祭	歌舞伎、日本舞踊、能楽、邦楽、義太夫など、「歌舞伎のまち小松」を支える伝統芸能を披露。	2017年 11月18日 ～ 11月19日	石川県 小松市	石川県こまつ芸術劇場うらら
22	2017年	6月30日	京都:Re-Search	地域の人々が主体となり、地域のポテンシャル・魅力をアートの視点から引き出すことで、交流人口の拡大、地域の活性化につながることを期待した取組。	2017年 8月21日 ～ 12月10日	京都府 福知山市	福知山市モジカ 京田辺市キララ館
23	2017年	6月30日	京都フィルハーモニー室内合奏団第210回定期公演	国内外の演奏家や指揮者と共演する一方、狂言、文楽人形、津軽三味線、尺八等の日本の伝統芸能とのコラボレーションを行う。	2017年 10月15日	京都府 京都市	京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ
24	2017年	6月30日	あさお子育てフェスタ	子育て支援の取組を行う関連団体や市民グループ、大学が協力し、子育て支援の情報収集・親同士の交流の機会・親子で楽しめる場として開催。	2017年 9月16日	神奈川県 川崎市	麻生区役所 麻生市民館
25	2017年	6月30日	第32回国民文化祭・なら2017「食文化シンポジウム」	「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に、生活文化に深く関わる日本の「食文化」の魅力を発信する。	2017年 7月5日	東京都 中央区	浜離宮朝日ホール 小ホール
26	2017年	6月30日	第41回全国高等学校総合文化祭 みやぎ総文2017	「器楽・管弦楽部門」「日本音楽部門」「吟詠剣詩舞部門」「郷土芸能部門」など各部門において、日本の伝統的な芸術文化活動の全国大会およびパフォーマンスを披露。	2017年 7月31日 ～ 8月4日	宮城県 県内10市町	仙台サンプラザホールほか 県下20の開催会場

文化芸術立国実現に向けた文化プログラムの推進

(28年度予算額 317億円)

29年度予定額 329億円

趣旨

文化芸術立国の実現に向け、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を活かし、地域の文化芸術活動への支援等を通じて多様な文化芸術の発展や文化財の活用を図り、もって文化プログラムの推進を図る。

【文化芸術の振興に関する基本方針(平成27年5月閣議決定)】

文化プログラム等の機会を活用して、全国の自治体や芸術家等との連携の下、地域の文化を体験してもらうための取組を全国各地で実施する。リオ大会の終了後にオリンピックムーブメントを国際的に高めるための取組を行い、文化プログラムの実施に向けた機運の醸成を図る。

文化プログラムの取組

■文化庁が主催するプロジェクト

- ✓文化庁主催による公演・展覧会・シンポジウム
- ✓文化芸術立国実現のための基盤整備に関する取組 等

■地方公共団体、民間が主催する取組を文化庁が補助するプロジェクト

- ✓劇場や博物館、芸術団体等による公演や展覧会等への支援
- ✓文化財や文化芸術による地域活性化に関する事業への支援 等

■地方公共団体、民間等が主体的に取り組むプロジェクト

- ✓地域のお祭り等、全国津々浦々で実施される草の根的な取組を情報発信

29年度予定額（主な事項）

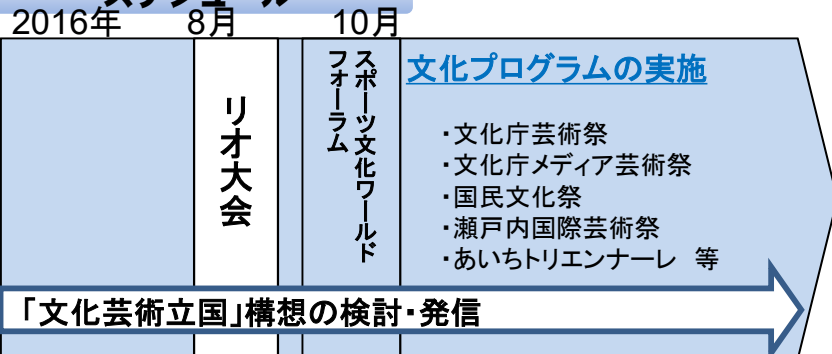
1 国が地方自治体、民間とタイアップした取組の推進 **323億円**

- ①文化庁が主体の取組
 - ・「文化庁芸術祭」、「文化庁メディア芸術祭」、「国民文化祭」、「全国高等学校総合文化祭」等を主催
- ②地方公共団体や民間が主体の取組
 - ・地域の文化芸術資源を磨き上げ活用する取組や、芸・産学官連携による持続的な地域経済の発展や社会的包摂の取組などへの支援
 - ・芸術団体等によるトップレベルの舞台芸術活動等への支援
 - ・芸術文化の世界への発信への支援 等

2 文化プログラム推進のための基盤整備(一部再掲) **9億円**

- ①国立文化施設の機能強化
 - ・訪日外国人向けの鑑賞・体験事業、多言語による解説・案内板の整備、国外への情報発信の強化
 - ・夜間開館の拡充
- ②多言語対応等による訪日外国人対応等
 - ・公立、私立の美術館・博物館、地域の劇場・音楽堂等における訪日外国人向けの鑑賞・体験事業、多言語による解説・案内板の整備、外国語対応可能なボランティアの育成等

スケジュール



2012年ロンドン大会における文化プログラム



【文化プログラム開催概要】

時期: 北京五輪終了後(2008年9月)からロンドン五輪終了時(2012年9月)まで

場所: 英国全土で1,000箇所以上

アクティビティ総数: 約11万7千件

(音楽、演劇、ダンス、美術、文学、ファッション、映画、展示会、ワークショップ等)

参加アーティスト: 40,464人(うち6,160人が若手アーティスト、806人が障害のあるアーティスト)

総参加者数: 約4,340万人

実施団体: 組織委、アーツカウンシルイングランド、文化・メディア・スポーツ省(国)、ロンドン市、レガシートラストUK、その他自治体等

メジャー・プロジェクト例: 世界シェークスピアフェスティバル(シェークスピアの戯曲を37カ国による37の異なる言語で実演)

アンリミティッド(身体に障害のあるアーティストによる上演・展示)

【文化プログラムによる効果】

① 文化レベルの向上

- 新たな作品の創造(5370作品の誕生)、文化、企業、教育、自治体等の**新たなパートナーシップの誕生(10,940)**
- 文化プログラムで創出されたプロジェクトの半数が2012年以降も継続(ファンディング等により)

② 幅広い層への文化活動への参画

- 参加者4,340万人。参加者やメディアにおける高い評価。参加者アンケートで8割以上が期待以上と回答

③ 観光産業への貢献

- 外国人観光客の集客は、**2012年から2013年で約5.2%の伸び率**
- 2012年の英国の国のブランドランキングでは、文化関連の項目の評価が向上(1ポイント)したことにより、**英国は順位を1つ上げて4位に(ロンドンのブランドランキングは、2012年に1位に)**

④ 自国文化の誇り、子ども・若者の自尊感情の醸成、障害者への理解、障害者アーティストの活躍等